

登野城小学校職員紹介

1 学年



比嘉つかさ 櫻田杏子
入波平みさよ 森永優那

2 学年



金城 梢 白保聖子
大滝優香 松原成美

3 学年



下地桃子 福田竜大 新本陽子

4 学年



今伊 剛 古謝広貴 平田和代

5 学年



稲井茂幸 川満沙笑 豊里友文

6 学年



小谷一成 木本由和子 宮城知史

特別支援学級



銘苅美代子 松本美奈子
国吉翔太 高木さやか

美崎宏美 (教諭) 今里紀美子 (学校司書) 大泊智六 (用務員)



太田裕也 (非常勤) 金城 歩 (授業改善リーダー) 岩崎洋子 (音楽専科)

学校教育支援員



石田美喜子 (教頭) 宮良勝也 (校長) 伊波勇史 (教務)

特別支援教育支援員



照屋 梢 黒木沙也香
内山 翠 芳賀菜美恵

事務室



大城宏一朗 (事務主事) 新城吾織 (PTA書記) 濱川大志 (学校事務) 金城幸光 (警備員)



充実したPTA活動に

登野城小学校 校長
宮良勝也

「しあわせはいつもじぶんのところがきめる」「うつくしいものを美しいと思えるあなたのところがうつくしい」などの詩で有名な相田みつお氏。校長室にも「一生感動一生青春」の色紙を飾って眺めています。実は彼は小学校のPTA会長を務めたこともあるPTA活動に熱心な人物だったようです。

彼のご子息が、教育誌に寄せた文章の中で「小学校のPTA会長をしていたころの父のノートが見つかった。(中略) 私がはっとしたのは、あるページにあった三箇条のメモである。『①私たちは、未来の社会を予測できない。②子どもは、その未来の社会を生きるものである。③その時親の手は届かない。』とあって、だから子どもをどんな社会にも正しく適応し、たくましく生きられるように育てておくことが、親の大事な務めなのだということ、学校教育もPTAもその延長線上にあるべきだという父の思いが続いていた」と述べておられました。

まさしく令和の未来に生きる子ども達に「生きる力」を育んでやるのが親の役目であるということだと思えます。学校教育もその一端を担っており、かしこく、やさしく、たくましい子を育てるために尽力する役割があると考えています。Pとして家庭教育を、Tとして学校教育を共に頑張ってPTA活動を充実したものにしていきましよう。

まずは昨年盛大に復活した「登小っ子ふれあいまつり」を今年も成功に導きたいものです。今年度もPTA活動に対するご理解とご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い致します。